

だっこだっこあみだっこ

土に親しもう！浄苑の菜園で
野菜の種まきや収穫を体験☆

平成 27 年

1

ぼく・わたしを育てる
ほとけのことば

ヤサイのハテナ

くらしの歳時記

4コマまんが
母 悲喜こもごも

京のイクメン

東山浄苑発！ママと子どものフリーペーパー *だっこだっこあみだっこ* です
♪

あみださまは、おかあさんの「だっこ」のように、あたたかくわたしたちを見護（みまも）ってくださいている—そのことに気づいたとき、わたしたちは安心して、自信をもって生きていけます。

未来をになう子どもたちは社会の宝もの。その子どもを育てるパパ、ママも宝ものとも言われます。子育てはとても尊い大事なことです。いい子になってほしい、と思いながらも、ほんとうのやさしさ、強さってなんだろう？悪いことをしたらどう叱ったらいいの？—ほとけさまの教えが、悩めるパパ、ママのともしびになりますように。ぜひ、ご家族みなさんでお読みください♪

FREE Paper

ぼく・わたしを育てる ほとけのことば

今月のことば：「報恩」（ほうおん） — 感謝する —

報恩（ほうおん）とは、皆さん聞きなれない言葉だと思います。恩に報いること、「恩返し」のことを言います。「鶴（つる）の恩返し」という昔話を知っていますか？おじいさんに助けられた鶴が美しい布を織り、「恩返し」をするお話しです。その「恩返し」です。

浄土真宗の中には、「報恩講（ほうおんこう）」という大切な行事があります。これは、浄土真宗を開いた親鸞聖人（しんらんしょうにん）が亡くなられた11月28日に行われる行事で、聖人が浄土真宗を開いて阿弥陀様のみ教えを説いて下さったことへ「感謝（かんしゃ）」する法要が行われます。

「感謝」とは、ありがたいと思う気持ちを表すこと、またその気持ちのことを言います。皆さんは、「感謝する」という場面を思い浮かべたとき、どんな場面が思い浮かびますか？

困った時に友達が助けてくれたり、ケガの手当てをしてもらった時などに「感謝」をしますね。そんな時に自然と口から出てくるのが、「ありがとう」という言葉です。

「ありがとう」という言葉は、日々皆さんが生活をしている中でよく使う言葉だと思います。漢字で書くと、「有難う」となります。これは元々仏教の教えから来た言葉で、「有る事が難しい、減多にない」という意味になります。したがって、「ありがとう」とは、そのことが減多にない素晴らしい事だと感じながら言う言葉なのです。

ありがとうの他にも、「感謝」をするときに使う言葉があります。「いただきます」と「ごちそうさま」という言葉です。これらの言葉はどんな時に使いますか？

「いただきます」はご飯を食べる時、「ごちそうさま」は食べ終わった時に言う言葉ですね。「いただきます」と「ごちそうさま」は、食事をすることによって、私たちが生きるために動物や植物の命を頂くこと、食材を育ててくれた農家の人や、食事を作ってくれた人たち、そして全てが仏さまのお恵みであることに、「感謝」の気持ちを表す言葉なのです。

食事をする時は、必ず仏さまのお恵み、限りない人の手助け、そして尊い命を私に繋げてくる動植物へ「ありがとう」という「感謝」の気持ちを込めて、大きな声で「いただきます」と「ごちそうさま」を言いましょう！！



ごちそうさま



いただきます



だっこだっこあみだっこ は、毎月東山浄苑で開催している
「親子仏法の集い」の活動内容をもとに編集しています♪

親子仏法の集い-仏法に親しもう 土に親しもう!-つてなあとに?

毎月第3日曜日に、東本願寺東山浄苑の菜園で行っている親子向けの活動。
なんでもありがたください、粗末にしない—古きよき日本人を育てた仏教の教えです。
家族で野菜づくりや年中行事に親しみ、「いただきます」「ありがたい」の豊かなこころを育てましょう。
乳幼児から中学生までのお子さんご家族はどなたでも参加できます。
初参加歓迎!(初回参加は無料です♪)お気軽にお尋ねくださいね。



【活動日】毎月第3日曜日 【場所】東本願寺東山浄苑 【参加費】1家族1回 1,000円(初回参加無料!)
※ベビールーム完備 ※参加ご家族30組限定

★お問合せ・参加のお申込みは★

東本願寺東山浄苑 総合受付 電話 075-541-8391 毎日9:00 ~17:00

—参加者募集中!今後の親子仏法の集いご案内—

1月活動

花まつりの練習・桜の木の植樹式^{しよくじゆ}

○日 時:平成28年1月17日(日) 10時~12時

○場 所:東本願寺東山浄苑内 ○参加費:1家族 1,000円

※初回参加は無料♪

- **今年の花まつり(お釈迦さまのお誕生日をお祝いする行事。詳しくは同封のチラシをご覧ください)は、平成28年4月29日(金・祝)に行います♪親子仏法の集いでは、今年は僧侶(お坊さん)と一緒に法要をおつとめします!お経をよんだり、散華(さんげ/花びらをまく)したり、磬(きん/おりん)を叩いたりして、一緒に法要をおつとめしましょう。ご僧侶がやさしくていねいに教えてくれます。他ではできない体験を、ぜひ一緒に!
- **1月活動では、桜の木を苑内に植えます!春が楽しみですね♪
- **参加ご希望の方は、事前にお電話(上記)でお申込み下さい。

「お下がりをいただく」ということを最近あまり聞かないかもしれません。
いただいたお菓子や果物などは、まずお仏壇の仏さまにお供えて、合掌礼拝する。
その後、仏さまのお下がりとして、そのお菓子をいただく—
親子仏法の集いでは、この作法とこころを大切に、子どもたちに伝えています。

古きよき日本人のこころを育てた仏さまの教え。
野菜づくりや、さまざまな体験を通して、一緒に成長しましょう!

だっこだっこあみだっこ 平成27年12月号

平成27年12月20日発行 発行・印刷/東本願寺東山浄苑 〒607-8461京都市山科区上花山旭山町8-1 電話075-541-8391

無料